

やってみよう！

「プラ」を活用してプラバンづくり

- お弁当のふたなどはプラスチックからできているものが多くあります。それらは、「プラスチック製容器包装」の資源物の日に出すことができます。
- 「プラ」とマークがかいてある下に、
- 「PS」と書いてあるものがあったら、
- それがプラバンづくりに使えます。
- 「PS」とはポリスチレンのこと。



80度ぐらいの低い温度でとけるプラスチックです。
家庭用トースターでプラバンづくりができます。

用意するもの

つくるのにか
かるじかん
15分ぐらい

- おべんとうのふた PSとかいてあるもの
- はさみ
- 穴あけパンチ
- 油性マジック(色はいろいろあるとたのしい)
- ストラップひも(手芸店や百均などでうっています)
- すきなイラスト(下絵)・・・自由にかいてもいい
- トースター
- クッキングシート
- へら
- わりばし
- 図かん



つくりかた①

- PSとかいてある透明なプラスチックを大体10cm四方ぐらいに切り取ります。それより大きいと丸まってしまい失敗しがち。のこったプラスチックは、「プラスチック製容器包装」の資源としてだせます。
- 好きなイラストの上に乗せてカラーマジックで写し取り、色をぬります。マジックは必ず油性の物を使ってください。
- 余りこい色でぬると、プラバンにした時に黒い色になるので、うすめの色でぬりつぶします。ふちどるだけでもステキです。
- 好きなかたちにきりとってもOK！
- ストラップをつける穴をパンチであけます。

つくりかた②

- トースターの受け皿の上に、クッキングシートをしき、そばに
図かんと間にクッキングシートをはさんでおきます。
- トースターを1000度であたためます。**熱いのでかならず大人
がしてください。やけどをしないよう、きをつけてください。**
- あたたまったら、プラバンをいれ熱します。
- 20秒ぐらいですぐに縮まりはじめ、くるくるっと丸まったりしま
すが、待っていると平たく戻りながら小さくなっていきます。
- 平たくなったら、へらを使ってとりだし、図かんにはさんだシー
トの間にはさんでとじて少し押すと、平たくなります。
- さめたらとりだし、ストラップを通すとできあがり！